

第55回 蒲都市新型コロナウイルス感染症対策本部 議事録<概要>

日時	令和2年9月9日(水) 8時40分から9時20分
出席者	新型コロナウイルス感染症対策本部員(土木港湾課長代理出席)
内容	<p><蒲都市警戒レベル3継続中(9月8日~9月11日予定)></p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症発生状況について 【事務局】 愛知県の感染者数は減少傾向だが、領域は嚴重警戒の状況。三河地方の感染者数も減少している。</p> <p>(2) 蒲都市新型コロナウイルス感染症対応ガイドラインについて 【事務局】 9月3日付けで学校における衛生管理マニュアルのレベルと国の警戒レベルの調整が示され、本市における警戒レベルも変更した。 本市の警戒レベルの判断基準について、「新規感染者数」は判断目安として用いたい。そのほかの項目については、感染拡大と減少傾向の経過を見る判断指標として「直近1週間と前1週間の比」を入れている。1.0を超えると感染拡大、1.0を切ると感染者減少との判断となる。 感染の広がりを見る指標として、「感染経路の不明の割合」を入れている。 医療体制の状況を把握する判断指標として、県も用いている「入院患者数」と「うち重症者数」を入れた。 市では1人2人の増減で数値の変動が大きいため、本市だけを見るのではなく、居住地域としての東三河南部、市民の行動範囲として東三河南部と隣接市町、県、この4つの括りを見ながら、警戒レベルを決めていけると良い。 陽性率については、市の指標には入っていない。中山先生と相談したところ、今後抗原検査や迅速型の検査を実施する医療機関が増えてくると想定される中、件数が増えてくことで数値を追いなくなる、陽性率が出せなくなることが考えられるため、県が把握している東三河南部の陽性率のみを入れている。 【健康推進監】 このガイドラインについては、判断基準だけでレベルを決めるのではなく、あくまでも新規感染者数は目安として、その他の指標も総合的に状況を見た上でレベルを変更していく。 新規感染者数については、直近1週間と前1週間の比で増減を確認し、経路不明者については県のホームページで特記事項に濃厚接触者があるか記載されるので、濃厚接触者ではない方(=感染経路不明者)がどのくら</p>

いの割合かだとか、入院患者数、重症者数を見て判断していく。

東三河南部の状況については、陽性率も出るのも含めている。入院患者数は、蒲郡市民病院だけでなく、東三河の病院にも入院する可能性が高いため指標に入れている。近隣市町とは生活圏域として隣接する岡崎・西尾・幸田を入れている。

これらを踏まえて総合的に判断した上で、レベルを決めていきたい。

現在、警戒レベルを3から2にするか検討しているが、今後、感染者が出た場合は、事務局でこの表から総合的に判断した上で、レベル変更の可能性のある場合は対策本部を開いていきたい。

【事務局】

判断する期間は1週間の傾向とする。

(3) 今後の警戒レベルの変更及び対応について

【事務局】

現在、警戒レベル3。市の直近1週間の感染者数は0が続いている。東三河南部、近隣市町、県も感染者数は減少傾向。感染経路不明は若干高いが、直近1週間との比も1を切る状態が続いており、感染者は減少傾向と判断されるため、レベルを3から2へ緩和したい。

公民館等の貸館業務もあるので、教育委員会や産業環境部からもいつから対応可能か、意見をいただきたい。

【教育委員会事務長】

予約等の関係もあるので、この週末からか、もう少し余裕がとれるなら来週からなど、連絡の余裕をいただくと現場としてはありがたい。

【産業環境部長】

産業環境部は閉館をしている施設はないため、明日より対応可能。

【事務局】

では、9月12日（土曜日）からレベル2に引き下げとする。

警戒レベル2では（行事・イベントの）収容人数は5,000人。今回の警戒レベル引き下げについて、前回同様、本日リリースする。

【健康推進監】

今回は、9月19日の国の上限人数の見直しに伴って総合的に警戒レベルを判断したいので、23日の部長会後に対策本部会議を実施したい。

(4) 各部から

【教育長】

県の教育委員会から臨時休校の取り扱いについて新たな通知が来た。

子どもや教職員の感染が判明した場合、今までは消毒等の関係で3日間必ず臨時休校だったが、今回の通知では、3日間を基本とするが弾力的に判断できることになった。また、今までは感染者が出た場合、学校全体を臨時休校としていたが、特定の学級・学年だけ閉鎖することとなった。

修学旅行は、市内で一番早いのは中部中学校10月5日から。予定通り進

めている。

<対策本部における決定事項>

- ・9月12日（土）から警戒レベル2に引き下げとする
- ・緩和後は、25日までの2週間の状況を見て、今後の対策を考える